



### ちびっこ美術館

村松幼稚園

ひろはら いちばな 廣原 一花ちゃん



#### 宇宙

「流れ星でしょ! これはUFO、ロケットに地球、あとは宇宙人だよ!」と画用紙いっぱい、宇宙の絵を描いてくれたのは一花ちゃん(5歳)。宇宙人に会ったら、一緒に粘土遊びがしてみたいとのこと。そんな一花ちゃんですが、今は色塗りに夢中なんだそうです。

## ぼくの夢 わたしの夢



### 夢は…。“鉄道の運転士”

白方小学校6年 ●浅野康友

ぼくの夢は、鉄道の運転士になることです。鉄道の運転士になって、たくさんの人の“夢”と“希望”を乗せて走りたいと思っています。

ぼくがそう思うきっかけになったのは、3歳のころ父に常磐線の列車を見に連れて行ってもらったことでした。そのとき、列車の音と形に感動しました。ぼくは、そんなカッコいい列車を運転してみたいと思いました。それから、鉄道車両の種類や駅、車内放送など鉄道について調べていくうちに、どんどん夢中になりました。気付いたら、「鉄道」という名前の友達が頭の中に入っているようになっていました。

もしもこの夢がかなうのなら、ぼくは地元の鉄道会社に勤め、地域の足として、愛する地元への恩返しができるように努力したいと思っています。また、夢をかなえるために今までよりもっと勉強に励んでいきたいです。

## わが家の子育てノート

高野 麻美

わが家は、長男の瀬名(9歳)と長女の恵菜(3歳)、主人と私の4人家族です。

恵菜の妊娠が分かった途端、つわりがひどくなり、点滴に通い、家事を主人に任せきりにしてしまっただけでも、今までは横になっただけでも、今までは横にならなかつたにおいに気持ちが悪くなり、吐いてしまうこともありました。だんだん状況が悪化し、水や唾液でさえ飲み込むのも辛く、入院することになりました。病院に着くと、不思議と吐き気もなく、気分も楽になりました。「つわりは病気じゃないし、赤ちゃんは元気だし…」と思っていても、我慢しないで早く病院に行っても、けば良かったなと思ったのを今でもよく覚えてます。その後の経過は順調で、予定より1週間遅れての出産でしたが、元気に生まれてきてくれました。恵菜は、よく飲み、よく眠る子で体力的にも、精神的にも助けられました。体調を崩し、何度か入院することもありましたが、そのたびに強くなり、年々病気に負けない体になっています。このままもっと体力を付け元気に過ごしてほしいです。

#### 瀬名は6歳の

ときにお兄ちゃんになりまして。それまでは、自由気ままに生活していたので、6

歳になっても「お兄ちゃん」というものがどういふものなのか分からず、いろいろな思いがあったと思います。それでも、生まれてきた小さな妹を見て、照れくさそうにしてみたり、かわいいと言ってくれたり、ちょっと触れてみたり(笑)。日々の何気ない生活の中で、「兄として妹にしてあげられることは何だろう?」「妹だから守ってあげなくちゃ!」などと「お兄ちゃん」の気持ちを学んでくれていたんだと思います。妹ができてうれしいことばかりではなかったはずなのに、恵菜と遊んでくれたり、自分のお小遣いでおやつを買ってくれたり。この3年間で、心も体もとても大きく成長したなと感じています。ついつい、「お兄ちゃんなんだから」と言って、たくさん頼みごとをしてしまい、ちょっと反省しています。いつも本当にありがとうね。

